



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月26日

上場取引所 東

上場会社名 芝浦メカトロニクス株式会社
 コード番号 6590 URL <http://www.shibaura.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 藤田 茂樹
 (氏名) 道嶋 仁

TEL 045-897-2425

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	30,841	△3.3	586	18.5	238	△49.6	42	△76.8
28年3月期第3四半期	31,907	9.4	494	—	473	—	183	—

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 158百万円 (△38.4%) 28年3月期第3四半期 258百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	0.86	—
28年3月期第3四半期	3.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	54,110	15,635	28.9	316.51
28年3月期	56,253	15,675	27.9	317.29

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 15,635百万円 28年3月期 15,675百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,000	1.0	1,300	0.6	1,100	△6.2	800	7.7	16.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期3Q	51,926,194 株	28年3月期	51,926,194 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期3Q	2,525,499 株	28年3月期	2,522,893 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	49,402,029 株	28年3月期3Q	49,404,972 株
----------	--------------	----------	--------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①業績全般について

当第3四半期連結累計期間における当社グループの事業環境としては、英国のEU離脱問題や米国の大統領選挙の影響などから為替レートの急激で大幅な変動があり、当社業績にも影響がありました。

受注は、顧客投資計画の変更や円高の影響により、当第3四半期連結累計期間も前年同期に比べ減少となりました。

売上は、受注減にともない前年同期に比べ減少しました。

営業利益は、事業構造改革が進展し収益性の高い製品系列へのシフトが進んでいることにより、増加しました。

経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益は、急激な円安の影響で為替予約に係るデリバティブ評価損の計上により、減少しました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、受注高は31,034百万円（前年同期比5.4%減）、売上高は30,841百万円（前年同期比3.3%減）、営業利益は586百万円（前年同期比18.5%増）となりました。経常利益は238百万円（前年同期比49.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は42百万円（前年同期比76.8%減）となりました。

②セグメントの業績について

(ファインメカトロニクス部門)

FPD (Flat Panel Display) 前工程は、顧客投資が液晶からOLEDへ変化することによる投資計画変更の影響や、円高の影響などにより、受注は前年同期に比べ減少しました。受注減にともない売上も前年同期に比べ減少しました。

半導体前工程は、先端分野向け装置を中心に、受注、売上ともに前年同期に比べ増加しました。

部門全体では、前年同期に比べ受注は減少しましたが、売上は増加しました。また、売上増に加え、収益性の高い装置の割合が増加したことにより、セグメント利益は増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は19,746百万円（前年同期比11.1%増）、セグメント利益は38百万円（前年同期はセグメント損失477百万円）となりました。

(メカトロニクスシステム部門)

FPD後工程は、中小型パネル向け装置の受注が減少しましたが、大型液晶パネル向け装置の受注が堅調に推移し、受注は前年同期並みとなりました。売上は中小型パネル向け装置の受注減にともない、前年同期に比べ減少しました。

半導体後工程は、ボンディング装置の需要停滞などもあり、受注、売上ともに前年同期に比べ減少しました。

真空応用装置は、IoT関連、車載関連装置の需要増を受けて受注、売上ともに前年同期に比べ増加しました。

部門全体では、受注、売上ともに前年同期に比べ減少しました。また、売上減にともないセグメント利益は前年同期に比べ減少しました。

この結果、当セグメントの売上高は8,098百万円（前年同期比29.5%減）、セグメント利益は309百万円（前年同期比67.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2,142百万円減少し54,110百万円となりました。これは主に、現金及び預金が6,289百万円増加し、一方で売掛金が6,873百万円、未収入金が599百万円、有形固定資産が388百万円減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ2,103百万円減少し38,474百万円となりました。これは主に、買掛金が1,353百万円、短期借入金が440百万円、前受金が512百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ39百万円減少し15,635百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績につきましては、平成28年11月2日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この減価償却方法の変更による影響額は軽微であります。

(3) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,026	13,316
受取手形及び売掛金	29,492	22,348
電子記録債権	673	748
商品及び製品	1,363	1,170
仕掛品	2,404	2,401
原材料及び貯蔵品	184	216
繰延税金資産	573	370
未収入金	1,324	725
その他	778	593
貸倒引当金	△23	△23
流動資産合計	43,797	41,869
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,353	28,449
減価償却累計額	△19,191	△19,454
建物及び構築物(純額)	9,161	8,994
機械装置及び運搬具	4,318	4,432
減価償却累計額	△2,852	△3,359
機械装置及び運搬具(純額)	1,466	1,073
工具、器具及び備品	655	695
減価償却累計額	△527	△560
工具、器具及び備品(純額)	128	134
土地	119	119
リース資産	356	347
減価償却累計額	△274	△290
リース資産(純額)	82	57
建設仮勘定	334	524
有形固定資産合計	11,292	10,903
無形固定資産		
特許権	344	334
その他	158	278
無形固定資産合計	502	613
投資その他の資産		
投資有価証券	113	124
長期前払費用	6	6
繰延税金資産	155	215
その他	386	379
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	660	723
固定資産合計	12,455	12,241
資産合計	56,253	54,110

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,330	11,545
短期借入金	5,540	5,100
1年内返済予定の長期借入金	—	800
リース債務	36	36
未払法人税等	243	96
未払費用	3,252	3,069
前受金	1,278	765
役員賞与引当金	28	24
その他	563	628
流動負債合計	23,273	22,067
固定負債		
長期借入金	6,500	5,700
リース債務	55	28
長期未払金	4	2
退職給付に係る負債	7,291	7,221
役員退職慰労引当金	7	8
修繕引当金	333	333
資産除去債務	34	34
長期預り保証金	3,076	3,078
固定負債合計	17,304	16,407
負債合計	40,578	38,474
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,761	6,761
資本剰余金	9,107	9,107
利益剰余金	2,981	2,826
自己株式	△1,722	△1,723
株主資本合計	17,128	16,972
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21	30
為替換算調整勘定	342	209
退職給付に係る調整累計額	△1,817	△1,577
その他の包括利益累計額合計	△1,453	△1,337
純資産合計	15,675	15,635
負債純資産合計	56,253	54,110

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	31,907	30,841
売上原価	24,801	23,593
売上総利益	7,105	7,247
販売費及び一般管理費	6,610	6,661
営業利益	494	586
営業外収益		
受取利息	7	2
受取配当金	1	1
為替差益	89	158
デリバティブ評価益	10	—
その他	43	28
営業外収益合計	152	191
営業外費用		
支払利息	109	100
デリバティブ評価損	—	373
その他	64	63
営業外費用合計	174	538
経常利益	473	238
税金等調整前四半期純利益	473	238
法人税、住民税及び事業税	76	56
法人税等調整額	213	139
法人税等合計	290	196
四半期純利益	183	42
親会社株主に帰属する四半期純利益	183	42

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	183	42
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	9
為替換算調整勘定	△70	△133
退職給付に係る調整額	141	240
その他の包括利益合計	74	116
四半期包括利益	258	158
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	258	158

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	ファインメカ トロニクス	メカトロニク スシステム	流通機器 システム	不動産賃貸	
売上高					
外部顧客への売上高	17,774	11,479	1,137	1,515	31,907
セグメント間の内部売上高又は振替高	13	111	0	—	124
計	17,787	11,591	1,137	1,515	32,032
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△477	937	△75	369	754

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	754
全社費用(注)	△300
その他	20
四半期連結損益計算書の経常利益	473

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の研究開発費のうち全社共通に係る要素開発費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	ファインメカ トロニクス	メカトロニク システム	流通機器 システム	不動産賃貸	
売上高					
外部顧客への売上高	19,746	8,098	1,440	1,556	30,841
セグメント間の内部売上高又は振替高	36	103	0	—	140
計	19,783	8,201	1,440	1,556	30,981
セグメント利益	38	309	50	449	847

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	847
全社費用(注)	△291
その他	△317
四半期連結損益計算書の経常利益	238

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の研究開発費のうち全社共通に係る要素開発費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。